

「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」開催のご報告

記者各位

当社(社長:渡 文明)は、例年主催しております題記シンポジウムにつきまして、11月9日(火)に「東アジアのエネルギー需給と日本の選択」をテーマとして下記のとおり開催致しました。

今回は、東アジア地域におけるエネルギー問題を提起し、世界のエネルギー需要が増大するなか、日本政府、民間企業は今後どのような取組みをしていくべきか、基調講演やパネリストによる討論を行っています。

また、当日は、企業、研究機関、マスコミ、大学関係や省庁などから1,010名の方にご参加を頂くことができ、シンポジウムは盛会のうちに終了致しました。

なお、本シンポジウムの模様は「NHK教育テレビ『土曜フォーラム』」(本年12月予定)にて放送される予定です。

記

- (1)日時 : 2004年11月9日(火)(14時30分～17時00分)
- (2)会場 : よみうりホール 千代田区有楽町1-11-1読売会館7階
- (3)テーマ : 「東アジアのエネルギー需給と日本の選択」
- (4)出演者: 主催者挨拶 渡 文明(当社代表取締役社長)
基調講演 日下 一正(経済産業省 経済産業審議官)
パネリスト 茅 陽一(東京大学名誉教授)
小山 堅(日本エネルギー経済研究所 総合エネルギー動向分析室 室長)
近藤 賢二(資源エネルギー庁 資源・燃料部長)
佐谷 信(当社常務取締役執行役員国際事業・需給本部長)
コーディネーター 嶋津 八生(NHK解説委員)
- (5)後援 : 経済産業省 日本エネルギー経済研究所 NHK

以上